

ゲートキーパー養成講座 実施要領

昨今の新型コロナウイルス感染症の影響により、以前と同じような生活を送ることもできず、健康問題、経済・生活問題、家庭問題等に加え感染への恐怖や先の見えない不安により、様々なストレスを抱えている人が増え、自殺リスクの高まりが懸念されています。

また、緊急事態宣言下の長期休業措置が子どもの精神状態に与えた影響は大きいとされており、長期の休み明けの子どもの自殺が発生しやすいことと併せて、子どものストレスが積み重なっていると思われます。

このことから、学童期及び青年期に関わる市内小中学校の教職員を対象に「ゲートキーパー養成講座（オンライン）」を実施します。

なお、今年度につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、オンラインで講座を開催するとともに、現在、既に久喜市教育委員会がWeb会議アプリ「Google Meet」を利用し、市内小中学校教職員とのビデオ会議を開催していることから、本講座においてもこのシステムを活用し、対象を市内小中学校教職員に限定しています。

記

1. 目的 自殺やうつ病等の自殺関連事象に関する正しい知識を普及啓発し、自殺の危険を示すサインや危険に気づいた時に対応できる「ゲートキーパー」を養成し、児童生徒のこころの健康の保持増進を図り、自殺者を減らすことを目的とする。
2. 日時 令和2年11月24日（火）15：30～16：30
3. 会場 市内各小中学校（オンライン講座）
4. 講師 越谷心理支援センター
岡野 結子 氏（公認心理師・臨床心理士）
5. 内容 新型コロナウイルスの影響下における子ども達のストレスとケアについて
6. 対象 市内小中学校教職員
7. 定員 約50名